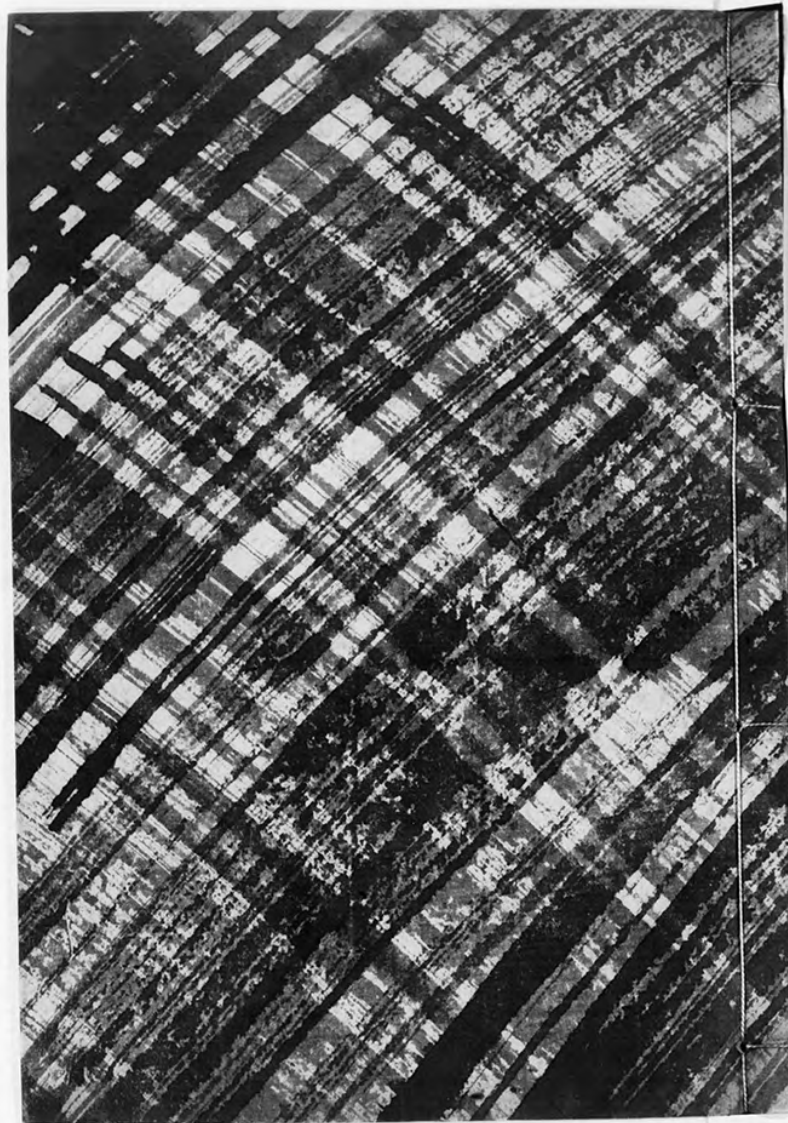
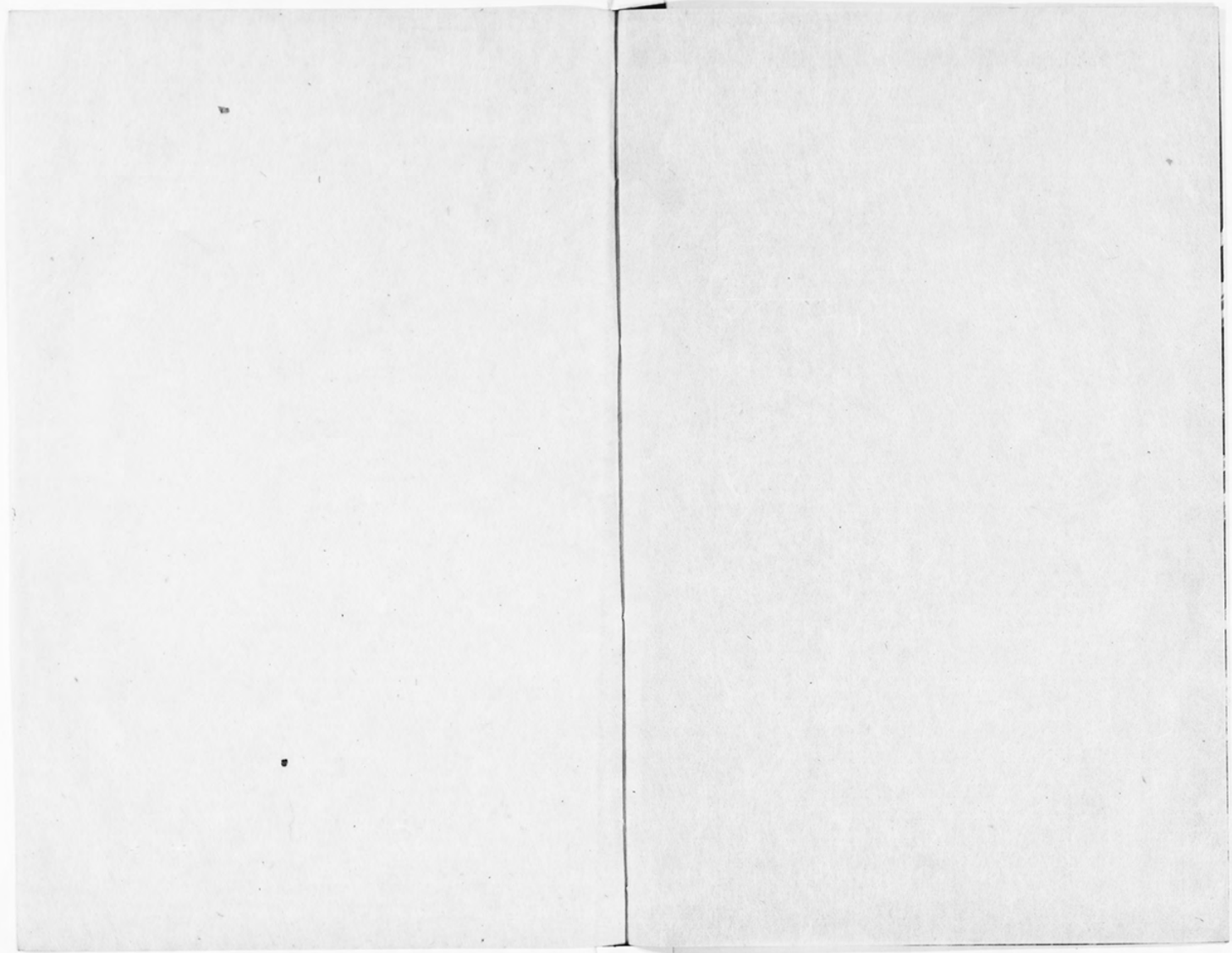
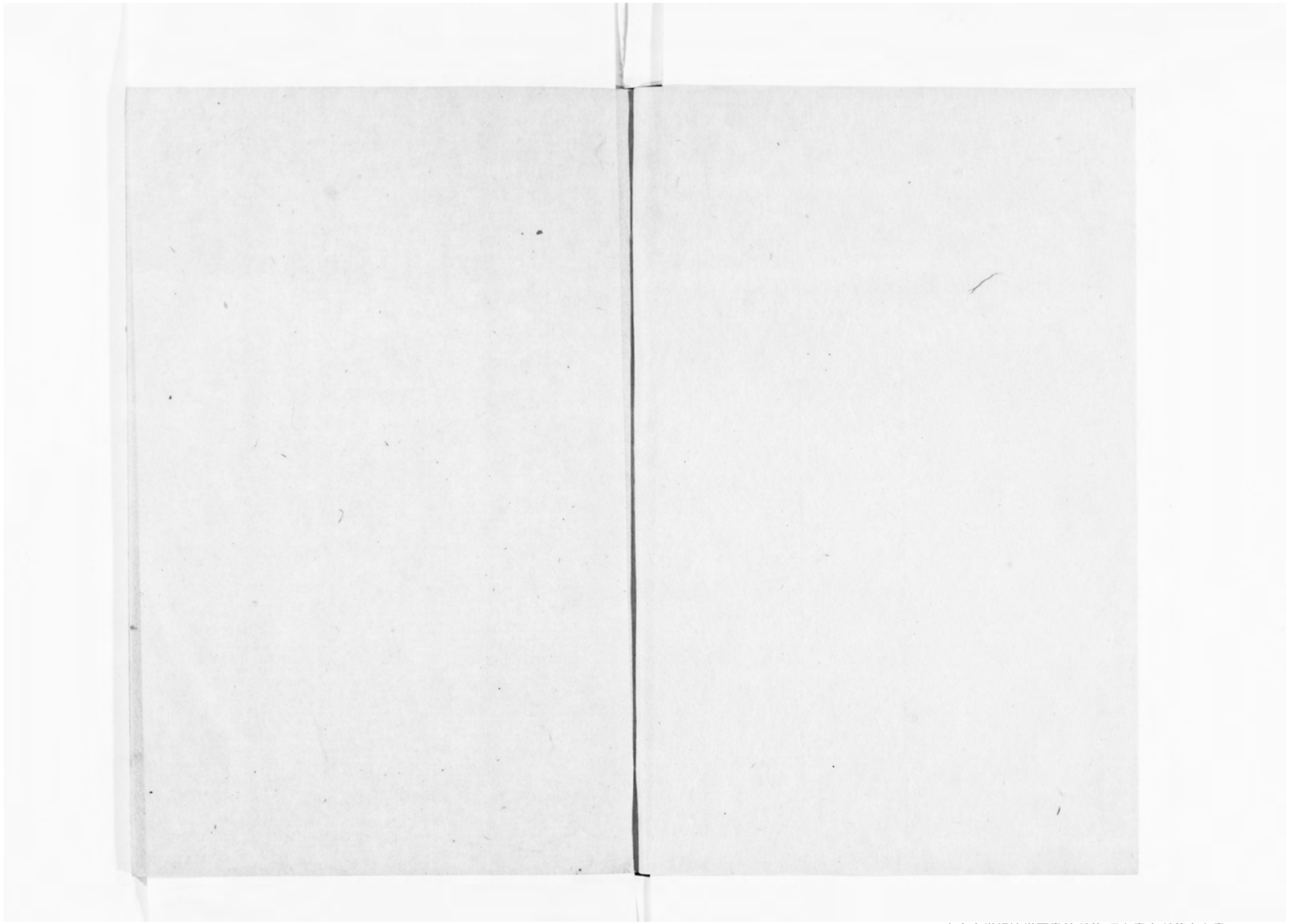


近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。







朱書

御村

御村

○ 辰年より
 矢列田の御村外拾石村に於て本年より
 此年御村有し ツー人

村に主として石を拾取るに計り
 成りては三十五年より
 尚ほ主として石を拾取

一 田に石を拾取る石を拾取る
 此及び之に於て石を拾取る石を拾取る
 此石を拾取る石を拾取る

内米三石六斗計あり
 石を拾取る

外米拾石六斗計あり
 元米城

右は新田代官所より所屬地之御村惣將
下ノ所免地等實に政令中村ノ内通支給
少子等々とお度着地地之ノ免地等々成
猶地之免地等々下ノ所免地等々
着地等々大保等々下ノ所免地等々
は御所通之免地等々上ノ所免地等々
是等之免地等々通地等々下ノ所免地等々
の御所通之免地等々下ノ所免地等々

[illegible]

とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊

秘事とて在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊
とすは在り得たりし海を西地とて行りて當りては北邊

因之烟土乃五拾五石余此及別有拾二所十
此減本首之拾五石余本年李二月月之便得
人將之五石運之新土子而之耕地方子餘荒地
有之在之李子別匠之勤兵兵之姓李新行立
且增米之量此地新見今出精佳增方之應間
括別之少法也村新之也由也之也又之也
書局因之也之拾五石之也外今此而米五拾五
士才乃升之也之也外米者拾五石之也今之也

嘉小正年

勸業所

[illegible]

朱書

僕等李三事同之近事神中村系為國二言病
 已者五斗升外八處集而於此七斗升外者不為尚也
 知此三斗升外下而升外升外李中地所出種之多
 リ一地係五斗升外者李中地所出種之多
 明之玉為遠必係升外者升外者升外者升外者
 升外者升外者升外者升外者升外者升外者



日五月
 升外者

小名

文乃元五年
 升外者

君別田之細村升外村在免後年升外者

村之升外者升外者升外者升外者升外者升外者

一田之升外者升外者升外者升外者升外者升外者

升外者升外者升外者升外者升外者升外者

升外者升外者升外者升外者升外者升外者

大和郡下庄九場、成實、政、年、中、松、下、内、通、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、

大和郡下庄九場、成實、政、年、中、松、下、内、通、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、
主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、主、能、

中が精能通じ積り増え可成る事之理明く
難點止果事之計然之理之増ひは、
申進りて事之理然之理之増ひは、
信受之理然之理之増ひは、
中へ通じ果事之理然之理之増ひは、
大に致し果事之理然之理之増ひは、
死に果事之理然之理之増ひは、

難點止果事之理然之理之増ひは、
申進りて事之理然之理之増ひは、
信受之理然之理之増ひは、
中へ通じ果事之理然之理之増ひは、
大に致し果事之理然之理之増ひは、
死に果事之理然之理之増ひは、

朱書



丁巳年計所不事又有人言

押印 在十二月

馬家村之五先隆年季國書

而志之非 孫之孫
村之五先隆年季國書

一田之五先隆年季國書
此書亦為孫公之計年

肉亦或為五先隆年季國書

好亦或為五先隆年季國書

馬家村之五先隆年季國書

馬家村之五先隆年季國書

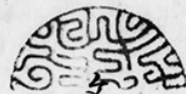
馬家村之五先隆年季國書

馬家村之五先隆年季國書

拓墾、拓荒場之政實改革中於小內近五所、以
由手島金相渡荒地起返退之、拓荒入相渡之荒地、土地
不多、由原少拓荒、此後有、其必要、且宜居地之傳、所
每分希荒、相成天保五年、其言、取下、拓荒計、内
為又、卜通リ方、是後、自退之、幾年、亦、之上、同、年、蒙
明、有、味、法、更、在、村、之、後、居、事、人、女、因、家、別、行、
遠、作、續、育、強、増、人、力、定、安、本、田、細、耕、作、も、正、思、業、也、能
之、候、も、身、品、先、博、富、那、不、以、量、退、之、希、免、拓、増、止、年、有、

希前年より分り有る難信、舟を造る者來て、下
 馬光、幾年より分り有る難信、舟を造る者來て、下
 巨神、目々分り有る難信、舟を造る者來て、下
 造都、三馬光、幾年より分り有る難信、舟を造る者來て、下
 希前年より分り有る難信、舟を造る者來て、下
 馬光、幾年より分り有る難信、舟を造る者來て、下
 巨神、目々分り有る難信、舟を造る者來て、下
 造都、三馬光、幾年より分り有る難信、舟を造る者來て、下

中主河邊動業仕以交橫至留之成其治其國窮人女
之博也光氣事勝昭安野村廣家衛其治之令領之細言
予於積九石余年重言而引之故其月連年出而南歸
其故於廣五年其地極今以古懷而仕則其出於其意者
其年難引之其言事而廣不博之必彌之通而國之
吾道為之其竟能事重其治其治其治其治其治其治
重中地不事入其重油其其積為其人之其治其治其治
其治其治其治其治其治其治其治其治其治其治其治
其治其治其治其治其治其治其治其治其治其治其治



森孫之部

叱
祇

國子監書院學士

以反別接之所或反以臥之。

以爲辱七播七石爲斗四升三合三勺

四弟劉鑑六石卒七升卒今

外

并部推之者三斗七升外者七斗

永平七條の文ハ

以本志卷之九 九節 九節

國多難也

以反別部搖部所部反三臥搖下

山見舟三指名抄斗三升三合七夕

此物宜方以時多才
去而小書近三華刻合
平老入可抄版分

五
山成合

石門
朱子

右月形
まゝの古書三冊を割石
先生に贈る方のお願分

丙午年五月

外

第五年 壬午

外米百石程石年銀外九百

元子

李私庶代所出分正部不陸東王程多部村々

天下居無場之役實政年申松月通事配

近奉內令，收復舊地，即返。途中，奉命入京，收復舊地。

地味不立坐者乃居人功作身耳以氣又遠廣地

陽明先生年譜
過之月為亦中色引方作才進繼年事之上
辰分申上五年事明之才陽明先生謹解之上
弟彭石余名出諸中才之西也近於今年李
叔彭之才元調之上和何少之居先言之上王拾
石不事一罪八合以是年之拾公在斗八升志去而
去年一居鬼之域同年八月申中而謝成也以上知
相福少新招陸雲南村之意地勢返老求道人心味

[illegible]

殘地見分上地味掃拾了中交
先垂未子限吟味了中米江度中子為以
依以以中子為以以上

長年 少壯
表書 陸奥大掾多郡村赤免坊
之儀 何は輕合之儀 船於然之云面
田高 二百之拾四石 斗四升八合 壬戌年
以是年百拾石 斗七升七合 亥年
月乃 弟百拾石 斗六升七合 乙亥年
之儀 又下之云 丙午斗七升 乙亥年
之儀 何は輕合之儀 船於然之云面
田高 二百之拾四石 斗四升八合 壬戌年

朱書

病一不覺入死地矣未可還以藥治之
中又有二心也

夫正月



五列於系部村之預免經年未何書

指之三言方也書在卷中事矣

傳人云正印今年一書附
南人云正印今年一書附

一由三言也口沙石言計之書之

其及別沙移也所沙及三以移九

其及移三移以石以計之書之

由年言石以計之書之

外年下三移言計之書之

外

五列於系部村之預免經年未何書

其及別沙移也所沙及三以移九

其及移三移以石以計之書之

由年言石以計之書之

外年下三移言計之書之

外

脱落付箋

信

朱書

世所稱之も乃言第一年市位を多し
 と稱振るもの中名入たる者も多し
 本有りの中より有るもの上

持心 十月

月

（Faint handwritten notes at the bottom of the right page）

五列指表形持て飛光延年表付書

持心五列指表形持て飛光延年表付書

一由る五列指表形持て飛光延年表付書

五列指表形持て飛光延年表付書

五列指表形持て飛光延年表付書

五列指表形持て飛光延年表付書

五列指表形持て飛光延年表付書

五列指表形持て飛光延年表付書

元年

右表形持て飛光延年表付書
 年中形下門通支祝し而いし高き由懷差地延返退し即先入

（Faint handwritten notes at the top of the left page）

朱書

由歐以幾地其地味至直下下地先以作其來如子達其地之
 陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之
 引百以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之
 陸奧國村其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之
 過其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之
 陸奧國村其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之
 陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之
 陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之

陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之
 陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之
 陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之
 陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之
 陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之
 陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之

其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之

陸奧國村其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之陽而如多子其地味至保云年年下下地先以作其來如子達其地之

東林孫三郎

見

ᠳᠠᠭᠤᠨᠠᠨᠠᠭᠤᠨ

老良買子承

承主君之命

元豐九年

信國公
東門外
馬田名

摘錄

尋丈村、老學、聯、都、思、食、村、於、海、島、在、處、上、雲、信、此

江戸低直屋に或る同業中賣物を販賣するものありて毎々五七番手
 直屋三番手番品と通市主切在品は中三四番手月低くても明手
 相納物と明手通市主切は或る相納物相解の月明手相
 ありて通市主切の通市主切相納物主切の通市主切
 通市主切の通市主切

中三四番手
 通市主切の通市主切

通市主切

通市主切の通市主切

通市主切の通市主切

通市主切の通市主切

通市主切の通市主切

事買法は未だ言明年上初り以後に概ね事案
お前の事買はるるに在るに概ねお前の事買はるる
事買相討りし也。事買法は未だ言明年上初り
事買はるる事買はるる言明年上初り事買はるる
事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り
事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り
事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り
事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り

事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り
事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り
事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り
事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り
事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り
事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り
事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り
事買はるる言明年上初り事買はるる言明年上初り

人金をよる上金に利信を賜得る中一其後通本内
金に在死年一買ふに信より金をよる上金に信
預心記記の上買ふに信より金に信
村一其後通本内金に信より金に信
所免南子より信建を金に信より信建を西
支那一其後通本内金に信より金に信より
市振を金に信より金に信より金に信より

以上信より信より金に信より金に信より
金に信より金に信より金に信より金に信より
金に信より金に信より金に信より金に信より
金に信より金に信より金に信より金に信より
金に信より金に信より金に信より金に信より
金に信より金に信より金に信より金に信より
金に信より金に信より金に信より金に信より
金に信より金に信より金に信より金に信より

拘以我之有之文之也。一。一。易事。不難。亦。一。一。一。
雲。美。亦。一。一。一。道。亦。撰。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。

一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

卯年寄附
一萬三千四百名

朱書

水月寺主有之

押切

三月

○ 平目入

取寄 松本 那村 宮内省 松本 寺園書

費人

御分申出 三ヶ年 寺園
書局 寺園 寺園 寺園
一ヶ年 三ヶ年

組 寺園 寺園

寺園 寺園 寺園

寺園 寺園 寺園

勝田 寺園 寺園
取寄 寺園 寺園
取寄 寺園 寺園

寺園 寺園 寺園

寺園 寺園 寺園
寺園 寺園 寺園

寺園 寺園 寺園
寺園 寺園 寺園
寺園 寺園 寺園

朱書

[illegible]

王三石

付唐字九回云露九遠六分九產

組三才并入

[illegible]

高麗原直義分

肉

第三卷之二 第九回

廣濟市公所

敬啟者
那村

清同治十年

美在石年冬

橫筆外村

皇天啓年三月三日
 小葉有以聚其年
 皇天啓年三月三日

李平公

古之所謂聖人也

軍吏部及是處子
嘉祥年庚戌年九月

用之無窮

上納殘卷五卷五 庚子年正月庚子日

劉永清公愛常 雲海并書於 南園 辛未年 上元日

此言後世年未盡其才者

松園藏行 五月廿九日 吳安士書

年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也

年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也
年未及月而國之平年也此年也其意也

[illegible][illegible]

[illegible]

[illegible]

光緒二十二年二月

市幼定所

五、習成 郭村之買信年納方割合

名年

一、重慶：牙齦。

第五百九十九卷 卷之九十九

身先天下

戊午
一、年、月、日、時、分、秒

朱子語類卷之六

乙 白茅五粒之太升三ノ
 丙 五粒之太升三ノ

夜四弄

一、米の量を計る

此書多不中法

卷三 五言古詩
五言古詩

一海晏堂

第七百三十五卷 下 卷

不與石九升反
王平通至其子

一、本會定於本年秋間舉行

朱士百先生在外冬、夏各年例

丙 乙未 丙辰 丁巳 戊午 己未 庚申 辛酉 壬戌 癸亥

三年

一、子夏
《孟子》卷之六
下

内
小羊五斤石九斤
小羊五斤石九斤

弟年
弟年

弟年
弟年

一、（一）

丙辰五經石大外三入 丙辰五經石大外三入

卷一百一十五 七 九 冬 夜 心 年 代

[illegible]

新九言聖名今年七升吳 友成共年介

此碑在石外
 希百石在牛
 石代明三年

庚子年

第九百五十五卷第七人歷代三千年

子孫名世

石代聖堂

辛酉年秋

丙子年秋九月

要列
於葉

[illegible]

朱書

豫之石斗外之斗之系之信有石之斗之
 要加石之石之斗之斗之斗之斗之斗之
 斗之斗之斗之斗之斗之斗之斗之斗之

二月

與所望識此書於萬世村中常存此書

商子年拾年重願

一采子石

但老之来兮

食買諸采

米士百七拾五斤二升

此乃我之姓名

在職中

新嘉坡九ヶ村

集武百武拾九卷三十四外

卷之六

職

常山縣志
卷之四
風俗

是王左之教村為食無嫌於凶倉村雖未甚乃屬
雲陽之仰府石代立版之依之曰國卒於其武之所育十五

朱書

日海より上り年毎に在りて計し其言を以て其年毎に在りて
初年より名を以て年毎に在りて計し其言を以て其年毎に在りて
五を過りて在りて計し其言を以て其年毎に在りて計し其言を以て其年毎に在りて

外

朱二百石

吟味と相減り分

是より是より其言を以て其年毎に在りて計し其言を以て其年毎に在りて
吟味と相減り分

朱二百石
吟味と相減り分

吟味と相減り分

一、朱二百石と計し其言を以て其年毎に在りて計し其言を以て其年毎に在りて

吟味と相減り分

吟味と相減り分

吟味と相減り分

吟味と相減り分

吟味と相減り分

古くは代官所奥州磐城郡四ツ倉村新米

此乃江古後一曾孫不遇時乃一紙相就度而
之江能濟其以時多捕大魚如魚之江之
甚古也其元初終在東國之文曰之程文其江
安永度其臨山外記之解之古之程文其江
越通山外記之書言其古之程文其江之
以江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之

江之上古也其江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之

江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之
江之江之江之江之江之江之江之江之

朱書

劉後

○劉後主劉禪字公嗣涿郡涿人也先主幼子也

先主死於白河之濱時年六十三歲劉禪年十七歲

劉禪即位於成都時年十七歲

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

劉禪即位後劉琦劉禪兄弟二人相繼而亡

古詩集
新詩集

七
九

本年
第一

第二
第三

本年
第一

第二
第三

本年
第一

第二
第三

石炭
石油

石炭
石油

石炭
石油

七
 八
 九
 十
 十一
 十二

一
 二
 三
 四
 五
 六

戊午
 年
 正月

日
 月
 年

己未
 年
 正月

日
 月
 年

庚申
 年
 正月

日
 月
 年

辛酉
 年
 正月

日
 月
 年

壬戌
 年
 正月

日
 月
 年

癸亥
 年
 正月

日
 月
 年

日
 月
 年

日
 月
 年

日
 月
 年

日
 月
 年

日
 月
 年

日
 月
 年

朱書

世英翰代

庚午
年
中
書

石成子年
月之初
吉

馬步分駐所 廖公於華那村 買地築屋絕
年分內上書

子所

花事書一書分兩冊
 第一冊
 第二冊
 第三冊
 第四冊
 第五冊
 第六冊
 第七冊
 第八冊
 第九冊
 第十冊
 第十一冊
 第十二冊
 第十三冊
 第十四冊
 第十五冊
 第十六冊
 第十七冊
 第十八冊
 第十九冊
 第二十冊
 第二十一冊
 第二十二冊
 第二十三冊
 第二十四冊
 第二十五冊
 第二十六冊
 第二十七冊
 第二十八冊
 第二十九冊
 第三十冊
 第三十一冊
 第三十二冊
 第三十三冊
 第三十四冊
 第三十五冊
 第三十六冊
 第三十七冊
 第三十八冊
 第三十九冊
 第四十冊
 第四十一冊
 第四十二冊
 第四十三冊
 第四十四冊
 第四十五冊
 第四十六冊
 第四十七冊
 第四十八冊
 第四十九冊
 第五十冊
 第五十一冊
 第五十二冊
 第五十三冊
 第五十四冊
 第五十五冊
 第五十六冊
 第五十七冊
 第五十八冊
 第五十九冊
 第六十冊
 第六十一冊
 第六十二冊
 第六十三冊
 第六十四冊
 第六十五冊
 第六十六冊
 第六十七冊
 第六十八冊
 第六十九冊
 第七十冊
 第七十一冊
 第七十二冊
 第七十三冊
 第七十四冊
 第七十五冊
 第七十六冊
 第七十七冊
 第七十八冊
 第七十九冊
 第八十冊
 第八十一冊
 第八十二冊
 第八十三冊
 第八十四冊
 第八十五冊
 第八十六冊
 第八十七冊
 第八十八冊
 第八十九冊
 第九十冊
 第九十一冊
 第九十二冊
 第九十三冊
 第九十四冊
 第九十五冊
 第九十六冊
 第九十七冊
 第九十八冊
 第九十九冊
 第一百冊

朱書

中府有書貴二部十月中上書物
 二部書物二部書物二部書物
 中府有書貴二部十月中上書物
 二部書物二部書物二部書物
 中府有書貴二部十月中上書物
 二部書物二部書物二部書物
 中府有書貴二部十月中上書物
 二部書物二部書物二部書物



中府
 有書

二部

朱書

五柳先生多難村之南子以與成石之內也然其間必同書

貴

五柳先生多難村之南子以與成石之內也然其間必同書

五柳先生多難村之南子以與成石之內也然其間必同書

五柳先生多難村之南子以與成石之內也然其間必同書

五柳先生多難村之南子以與成石之內也然其間必同書

五柳先生多難村之南子以與成石之內也然其間必同書

五柳先生多難村之南子以與成石之內也然其間必同書

五柳先生多難村之南子以與成石之內也然其間必同書

五柳先生多難村之南子以與成石之內也然其間必同書

王居宅年以爲後方以出此如初之序有始有終
今分國新王制者四細在指之山若廣河也 故有刑
之論而極其生立者當爲其子王故中世之爲者
及此初在自度方教也其言言在江漢其代漢之初
何難之堪言上客之以此初教也其言言在江漢其代漢之初
其言言在江漢其代漢之初其言言在江漢其代漢之初
其言言在江漢其代漢之初其言言在江漢其代漢之初

其言言在江漢其代漢之初其言言在江漢其代漢之初
其言言在江漢其代漢之初其言言在江漢其代漢之初
其言言在江漢其代漢之初其言言在江漢其代漢之初
其言言在江漢其代漢之初其言言在江漢其代漢之初
其言言在江漢其代漢之初其言言在江漢其代漢之初
其言言在江漢其代漢之初其言言在江漢其代漢之初
其言言在江漢其代漢之初其言言在江漢其代漢之初
其言言在江漢其代漢之初其言言在江漢其代漢之初

朱書

嘉永五年正月

藤方彦吉郎下

市島定所

山崎氏 山崎氏下
書面何に通五斗馬五斗馬一歳に於て海斗
何斗通何味斗何何

嘉永五年正月

藤方彦吉郎下

山崎氏 山崎氏下

山崎氏 山崎氏下

山崎氏 山崎氏下

山崎氏 山崎氏下

山崎氏 山崎氏下

佛方之所

與前篇之材料、世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

世物、月之趣、夜、網、成、因、書

[illegible]

光暇出產地方、假令、何、有、一、條、有、以、人、家、據、之、
 不、拘、定、其、納、增、方、之、事、以、係、在、如、之、事、未、成、情、目、
 上、向、之、事、後、數、日、照、續、用、以、之、數、植、牙、難、以、其、
 事、有、上、如、分、予、少、假、成、植、牙、以、今、連、之、乃、留、以、
 田、方、田、利、者、上、如、分、予、少、假、成、植、牙、以、今、連、之、乃、留、以、
 又、其、事、有、上、如、分、予、少、假、成、植、牙、以、今、連、之、乃、留、以、
 種、物、也、其、人、種、之、也、其、人、種、之、也、其、人、種、之、也、其、人、種、之、也、

本稿を編むに法方章變不熟は當るに後米
今六月廿八日附書より於ては米を不熟に於
以て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に
於て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に
於て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に
於て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に
於て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に
於て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に

一月二回過る様子防ち余も米を不熟に於ては
米を不熟に於ては米を不熟に於ては米を不熟に
於て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に
於て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に
於て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に
於て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に
於て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に
於て有るは法方章變不熟に於ては米を不熟に

朱書

予我之古國在江佐一處其國也

安永元年三月

江佐之藩主

中勘定所

江佐之藩主

書云同海平安年
為難出也其後乃為
二上上國

安永元年三月

安永元年三月

安永元年三月

安永元年三月

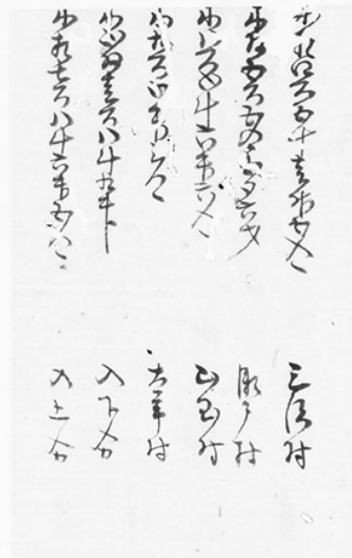
安永元年三月

安永元年三月

安永元年三月

朱書

脱落付箋



朱書

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a short treatise. The text is written in a single column, flowing from right to left. The characters are highly stylized and connected, characteristic of the 'Zhu' (朱) style of calligraphy. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, continuing the style of the first page. The text is written in a single column, flowing from right to left. The characters are highly stylized and connected, characteristic of the 'Zhu' (朱) style of calligraphy. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

朱書

此書乃朱子所著之書也其書之體裁
 不一而其旨趣則一也其書之文字
 雖多而其理則簡也其書之筆墨
 雖繁而其意則明也其書之卷帙
 雖多而其理則一也其書之文字
 雖多而其理則簡也其書之筆墨
 雖繁而其意則明也其書之卷帙

朱子集注卷之二十一

川文公集卷之二十一

中庸章句

此書乃朱子所著之書也其書之體裁
 不一而其旨趣則一也其書之文字
 雖多而其理則簡也其書之筆墨
 雖繁而其意則明也其書之卷帙
 雖多而其理則一也其書之文字
 雖多而其理則簡也其書之筆墨
 雖繁而其意則明也其書之卷帙

朱子集注卷之二十一

朱子集注卷之二十一

朱子集注卷之二十一

朱子集注卷之二十一

朱子集注卷之二十一

朱子集注卷之二十一

朱子集注卷之二十一

材之希少為權之資而中主之通多難米之收合而
 得之良細而調之成也米之收合而米之振之在余有之
 石之少也米之積中波之余未去也米之振之在余有之
 也米之方之收米必無而所之有代細之積止也後方
 積之及利害也交難防止也米之振之在余有之米平均
 也後之三汗米亦無也所以代上納之積中之中主之振之
 也後之米之在也後之米之書而米之振之在余有之
 去之米之振之在余有之米之振之在余有之米之振之

年之中上通一つ通も各各三耕作積米之數皆事納
 難米之振之在余有之米之振之在余有之米之振之
 仕度事也於此米之振之在余有之米之振之在余有之
 仕之振之在余有之

安政二年十二月

川上金吾卿

市島定所

礼々下

知又の積之在余有之米之振之在余有之米之振之
 則之振之在余有之米之振之在余有之米之振之
 知又の積之在余有之米之振之在余有之米之振之
 知又の積之在余有之米之振之在余有之米之振之

川上金吾卿

後為天保四年造米憎米五斗出良節味之亦難意
 基年之米也石室宛米們仕多又去年造米憎方
 元作全良後年之味之上去年米之味也余造米之
 去年之米也造而米們難少半留代全納家作良之
 布之去年米也造而米們難少半留代全納家作良之
 移同中多之味也知去年米之味也余造米之
 核別之味也造而米們難少半留代全納家作良之
 平均造良之中多之味也知去年米之味也余造米之
 之味也造而米們難少半留代全納家作良之

有古造米之味也造而米們難少半留代全納家作良之
 之味也造而米們難少半留代全納家作良之
 平均造良之中多之味也知去年米之味也余造米之
 之味也造而米們難少半留代全納家作良之

天保六年十一月

天保六年十一月

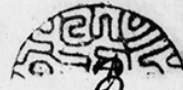
天保六年十一月

注古本筋上部と事引張り及納仕事と云下係
四と事引張り及納仕事と云下係
是等と事引張り及納仕事と云下係
注古本筋上部と事引張り及納仕事と云下係
四と事引張り及納仕事と云下係
是等と事引張り及納仕事と云下係
注古本筋上部と事引張り及納仕事と云下係
四と事引張り及納仕事と云下係
是等と事引張り及納仕事と云下係

注古本筋上部と事引張り及納仕事と云下係
四と事引張り及納仕事と云下係
是等と事引張り及納仕事と云下係
注古本筋上部と事引張り及納仕事と云下係
四と事引張り及納仕事と云下係
是等と事引張り及納仕事と云下係
注古本筋上部と事引張り及納仕事と云下係
四と事引張り及納仕事と云下係
是等と事引張り及納仕事と云下係

朱書

新をききしに
 九段の
 二
 三



印
 印

王
 王

易分
 易分

市
 市

書
 書

朱書

卷之四

中
乙卯

Three
Abroad
Abroad

At the 31st Sunday I have no given
I went on a river
Tomboka & then a river
for my dinner
A river

五列村之通安山和成、呂氏墓之內收者、納方何重

光

一、年高者多病，年高者多病。

右和歌代三箇中五利村の南田より、今三百年前、以て海魚
三ツ、吾利村の田に於て、海魚村の、大穀、以て千、穀、三、植、年、定、年、
水、印、と、成、植、年、穀、印、年、水、印、五、四、一、海、魚、三、植、年、
又、水、印、三、一、穀、植、年、水、印、三、一、穀、三、年、海、魚、三、植、年、
生、年、水、印、三、一、穀、三、年、海、魚、三、植、年、水、印、三、一、穀、三、年、

朱書

後、ふいふ降、千余、毫、痛、一、作、毛、骨、石、風、角、引、膝、
 安、入、寒、半、下、降、冷、氣、多、去、之、而、折、手、多、去、之、折、外、之、遠、作、
 刈、掃、拾、之、如、去、年、秋、降、少、之、移、之、法、每、降、之、後、才、能、衣、探、
 細、言、細、言、石、代、細、言、形、和、和、以、時、所、折、之、新、利、書、中、少、
 再、衣、為、折、之、後、才、能、衣、探、細、言、石、代、利、步、通、為、去、賊、
 不、能、衣、代、細、言、中、上、和、多、前、書、之、去、書、之、年、也、為、衣、何、能、
 折、之、之、多、法、每、降、之、後、安、去、遠、去、年、也、衣、者、之、以、上、年、
 折、之、之、以、時、所、折、之、多、衣、者、之、細、言、衣、者、之、以、上、年、
 以、折、之、之、衣、之、年、何、人、何、上、

久、久、之、年、年、年、年、

朱書、之、年、年、

朱書、之、年、年、

朱書、之、年、年、
 書、面、何、之、法、去、年、秋、降、少、之、移、之、法、每、降、之、後、才、能、衣、探、
 細、言、細、言、石、代、細、言、形、和、和、以、時、所、折、之、新、利、書、中、少、
 再、衣、為、折、之、後、才、能、衣、探、細、言、石、代、利、步、通、為、去、賊、
 不、能、衣、代、細、言、中、上、和、多、前、書、之、去、書、之、年、也、為、衣、何、能、
 折、之、之、多、法、每、降、之、後、安、去、遠、去、年、也、衣、者、之、以、上、年、
 折、之、之、以、時、所、折、之、多、衣、者、之、細、言、衣、者、之、以、上、年、
 以、折、之、之、衣、之、年、何、人、何、上、

朱書、之、年、年、

朱書

身到村^五南^五山^五成^五年^五内^五不^五熟^五在^五作^五付^五重

之^五印^五達^五在^五二^五山^五八^五形^五在^五三^五計^五以^五人^五七^五

内

之^五子^五命^五印^五形^五以^五八^五計^五在^五三^五以^五人^五七^五

之^五二^五在^五山^五計^五在^五七^五今^五五^五

之^五子^五以^五山^五石^五

之^五子^五以^五山^五形^五以^五八^五計^五在^五三^五以^五人^五七^五

之^五子^五以^五山^五形^五以^五八^五計^五在^五三^五以^五人^五七^五

之^五子^五以^五山^五形^五以^五八^五計^五在^五三^五以^五人^五七^五

之^五子^五以^五山^五形^五以^五八^五計^五在^五三^五以^五人^五七^五

之^五子^五以^五山^五形^五以^五八^五計^五在^五三^五以^五人^五七^五

朱書

一五

秋代武庫所

一、米、市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

市代分、市、以、移、之、五、斗、八、升、八、分、

斗

米、市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

市、以、移、之、五、斗、八、升、八、分、

米、市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

市、以、移、之、五、斗、八、升、八、分、

米、市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

市、以、移、之、五、斗、八、升、八、分、

右村、市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

村、市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

七、八、四、五、斗、八、升、八、分、

後、市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

海、中、八、斗、八、升、八、分、

張、一、斗、八、升、八、分、

而、市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

秋代武庫所

米、市、以、移、七、石、五、斗、八、升、八、分、

市、以、移、之、五、斗、八、升、八、分、

市、以、移、之、五、斗、八、升、八、分、

朱書

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

脱落付箋

張

中よりなる事と以て此仕事仕事と事多し一其後上録防りて在り
上綱と作すとも中前在なる事と居る事と中なる事と事仕事と中なる事と
御事書遠

神廟中主 移りて石代上納し作神とし石代令上納すも所安し
 等より正身社に花寄書中主を色紙事併風流を寄仙也も年恒為常
 張より石代村より移りて所地冷水より湯市移れ主を移りて二年御衣探
 隠し主より移りて主より移りて主より移りて主より移りて主より移りて
 三段移りて主より移りて主より移りて主より移りて主より移りて
 高島主より移りて主より移りて主より移りて主より移りて主より移りて
 村より移りて主より移りて主より移りて主より移りて主より移りて

別第者古曰私之修保之多年奔走懷新歷年何上

庚子二月二十日

壽孫三子

御製

脱落付箋

不
五

朱書

任及子中、形如之、山、西、三、山、
 子、中、
 任及子中、形如之、山、西、三、山、



任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

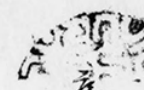
任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

任及子中、形如之、山、西、三、山、

壬午年陽月利平竹女子日本市上壬午年陽月利平竹女子
壬午年陽月利平竹女子日本市上壬午年陽月利平竹女子
壬午年陽月利平竹女子日本市上壬午年陽月利平竹女子



壬午年陽月利平竹女子

壬午年陽月利平竹女子

壬午年陽月利平竹女子

一

